

写真展 「生きていくために」

働く子ども達

アジア日本相互交流センター (ICAN: Intercommunication Center for Asia and Nippon)



写真はケソン市バヤタス地区 (第2のスモーク・マウンテン)

フィリピンの首都、マニラから吐きだされるゴミの処分場。ここでゴミを拾って換金し、生活している人々がいる。ここでは子ども達も貴重な労働力だ。

家族のために働く子ども達、その想いや夢は？

フィリピンでは貧しさゆえ家計を支えるために働かなければならない子ども達が大勢います。彼らは、わずかな収入を得るために過酷な環境で働き、教育を受ける機会や健康な生活を脅かされています。

ICANでは、これまで、これらフィリピンの貧しい子ども達を支援する活動を行ってきました。このたび、支援している地区を中心とした働く子ども達の実状を知って頂く写真展を開催いたします。この子ども達の現実を見て、私たち一人一人に何ができるのか、考えてみませんか？

期間 2000. **8 / 5** (土) ~ **6** (日)

10:00 ~ 17:00

場所 名古屋国際センター 4階 第3展示室

料金 大人：200円、高校生以下：100円

主催：アジア日本相互交流センター (ICAN)

後援：財団法人 名古屋国際センター

特定非営利活動法人 名古屋NGOセンター

写真提供：Ms. Sadhana BUXANI

熊井葉子氏

問い合わせ：名古屋市中村区名駅南 1-20-11

NPOプラザ なごや 2階 ICAN事務局

TEL / FAX : 052-582-2244

E-mail : ican@jca.apc.org